平成　23　年度事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

平成　24　年　8　月　13　日時点

事務事業名	コード1	0135	インターネット活用事業	課	企画政策課		
	コード2			所属班	情報管理班		
			□ 主要事業	電話番号	62-8090	内線	199

政策体系				予算科目	会計	款	項	目
	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり					
	施策	1	市民参画・協働の促進		一般会計	02	01	07
	施策の展開	3	広報活動の充実	根拠法令	旭市インターネットサービス運用管理要綱			
	基本事業	344	広報あさひの発行					

1　現状把握（Do）

（1）事業概要

① 事業期間	② 事業の内容　※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 17 年度～ □ 開始年度不詳 □ 期間限定複数年度 平成＿年度～ 平成＿年度まで ※全体像を記述⇒	インターネット上で行政情報を発信している「ホームページ旭」の管理 ホームページの内容として各課のお知らせ、イベント情報、くらしの便利帳、市政の情報などを掲載。 ホームページのサービスとして申請書等のダウンロードが行えます。 各課のお知らせ、イベント情報は各課からホームページ編集機能により掲載しており、そのホームページ編集機能の管理。 事業所・イベント情報を発信している「まるごと旭どっとこむ」の管理。 【業務の流れ】 ホームページ修正の検討　→　ホームページ作成委託先との打合せ　→　ホームページ修正 各課からホームページ修正の依頼　→　修正内容の確認　→　ホームページ修正 各課からのホームページ編集機能対応。

（2）トータルコスト

① 事業費の内訳（費目等）
通信運搬費　103,320円、ホームページ作成委託料　3,160,500円、事務機器賃借料　378,000円

② 延べ業務時間の内訳
ホームページ修正　485時間、打ち合わせ　15時間、研修　20時間

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
事業費	財源内訳 国庫支出金	千円						
	財源内訳 都道府県支出金	千円						
	財源内訳 地方債	千円						
	財源内訳 その他	千円						
	財源内訳 一般財源	千円	2,277	3,642	3,642	3,654		
	事業費計（A）	千円	2,277	3,642	3,642	3,654	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	0.20	0.20	0.26	0.20		
	延べ業務時間	時間	400	400	520	400		
	人件費計（B）	千円	1,520	1,520	1,976	1,520	0	0
トータルコスト(A)＋(B)		千円	3,797	5,162	5,618	5,174	0	0

（3）事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段 ① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
23年度実績（23年度に行った主な活動） 「ホームページ旭」、「まるごと旭」のリニューアル 各課依頼によるホームページの修正 ホームページ編集機能の操作研修 24年度計画（24年度に計画している主な活動） リニューアルによる不具合の解消、災害時の情報公開	ア 作成委託料	千円	1,796	3,160	3,160	2,646		
	イ ホームページ修正回数	回	－	－	400	350		
	ウ イベント情報等更新回数	回	－	－	200	200		

目的 ② 対象（誰、何を対象にしているのか）	⑥ 対象指標名	単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
市民・旭市に興味のある人	ア 人口	人	70,376	70,138	69,749	69,223		
	イ 旭市に興味のある人	人	－	－	－	－		

目的 ③ 意図（対象がどのような状態になるのか）	⑦ 成果指標名（考え方）	単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
旭市について必要な情報をいつでも知ることができる。	ア 「ホームページ旭」アクセス数	アクセス	716,863	792,649	737,867	900,000		
	イ 「まるごと旭どっとこむ」アクセス数	アクセス	61,526	52,558	53,102	70,000		

上位目的 ④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名（考え方）	単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
いつでも市から正確な情報を受け取ることによって市への信頼を高める。	ア 観光者数	千人	1,370	1,210	909	1,200		
	イ イベント参加者数	千人	323	267	210	250		

（4）事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
市の情報を国内外に向けアピールする。地域に密着した情報を提供する。観光イベント情報を発信する。	市民や旭市に興味のある方が、必要な情報を得るために、まずホームページを見ることや、申請書等を説明するのにホームページを案内するなど、重要性は増していると考えている。	ホームページが読みにくい（必要な情報が見つけづらい）、情報の掲載が遅い、委託費は適切な額か、等。

事務事業名	インターネット活用事業	課名	企画政策課	班名	情報管理班

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 結びついている ⇒【理由】 行政情報の充実や速やかな公表により、広報活動の充実が図れる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 適切である ⇒【理由】 市民及び旭市に興味をもっている人に対し適切な情報発信ができる。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☑ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 「ホームページ旭」は行政情報を適切かつ迅速に発信する業務は、市が行うのが妥当である。 「まるごと旭」はその内容から民間団体にまかせてもよいのでは。
有効性評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☑ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 使いやすい、わかりやすいホームページにするため、今後とも見直しを行っていく。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとどうか？	☑ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 新たな業務内容の追加や、修正・更新回数をを増やすことで成果は向上する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☑ 他に手段がある (1) 事務事業名：(広報あさひの発行、近隣市のホームページ) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☑ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 広報あさひの内容はホームページに掲載しており、連携できている。また、県内各市町のホームページとはリンクしており連携できている。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☑ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ホームページ編集機能により、各課職員で修正・掲載できるデータ量を増やすことで事業費を削減したい。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☑ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 様々な修正を各課から依頼され、作業を行っているが、簡易な修正を各課で行うことにより、人件費の削減は可能と考えられる。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 インターネットにより市民及び市外の方に見てもらうものなので、情報機器の所有という課題はあるが、公平・公正であると考えられる。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
③ 効率性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2)全体総括(振り返り、反省点)

情報量は年々増加しており、運用管理に係る経費の削減は難しい。市民や各課の要望に応えるための見直しにも経費はかかる。「まるごと旭」の位置づけについてさらなる検討が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)　※2～3年後を目処にした方向性

☐ 目的再設定	☑ 行政関与の見直し
☑ 事業のやり方改善による成果向上	☐ 事業統廃合・連携(関連事業：　　)
☑ 事業のやり方改善による事業費削減	☑ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減
☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化
☐ 廃止・休止	

(2)改革改善案について　※いつまでに、なにを、どうするのか？

①ホームページ内容の精査　(平成24～25年度)
②ホームページのリニューアル　(平成26年度)
③ホームページ内容の各課職員での修正・更新事項の拡大　(随時実施)
④

(3)改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			

(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

①運用管理に係る経費の削減
②
③
④